

第90号

編集・発行

公益財団法人  
柏市シルバー人材センター

〒277-0005

千葉県柏市柏255番地の33

TEL 04-7166-6681

FAX 04-7163-4150

URL <http://www.sjc.ne.jp/kashiwa/>

メール kashiwa@sjc.ne.jp

会報

ゆずりは



地区対抗グランドゴルフ大会(昨年11月16日)

謹賀新年

シルバー人材センターとは

- 高齢者に相応しい、臨時的、短期的、軽易なお仕事を地域社会からお引き受けし会員の希望や能力に応じ提供します。
- 会員自身が組織運営に参画する自主的な組織です。

おもな掲載内容

- 2面 ● 年頭のご挨拶  
会長あいさつ
- 3面 ● がんばっています  
柏市長あいさつ  
会員インタビュー
- 4面 ● 盛んです!! 地域班活動  
地区対抗グランドゴルフ大会  
清掃ボランティア活動  
そば打ち体験&試食会  
沼南まつり
- 6面 ● 事業部会から  
柏東地区講演会
- 7面 ● ショプコーディネーターについて  
就業開拓部会から
- 8面 ● 広報部会から  
安全だより  
事務局からのお知らせ

安全と 笑顔で就業 感謝され

平成25年度柏市シルバー人材センター 安全標語最優秀賞

# 年頭のご挨拶



会長 谷口 義則

特にこれからの高齢者は、元気なうちは「就労」と「生

新年あけましておめでと  
うございます。

会員の皆様におかれましては、平成二十六年の新春を、お健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

シルバー人材センターを

取り巻く環境は、年々厳しい状況になっておりますが、我々高齢世代が培ってきた知識や技能、経験を活かして、これからは、積極的に社会にうってでいかなければなりません。

また、これから労働力が減少する中、元気な高齢者が、こつした要請に心えて、自らの健康状態や体力に合わせ、社会貢献することは、非常に重要なことと思われま

きがい」という場を残しておかなければなりません。

こつした中で、「教養」(今日用がある)と「教育」(今日行くところがある)という二つのフレーズは非常に重要な課題です。

本年も、役員・職員一丸となって柏市シルバー人材センターのより円滑な運営に努めてまいりますので、会員の皆様のなご一層のご協力、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、会員並びにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

あけまして

おめでとうございます

会長 谷口 義則

副会長 古川 義一

常務理事 川上 博司

理事 曾我部 武

理事 佐野 昌利

理事 高山 一利

理事 山本 一彦

理事 坂本 隆子

理事 森岡 正治

理事 大村 美恵

監事 伊藤 裕輔

監事 稲林 良博

職員一同



柏市長 秋山 浩保

療体制を目指しています。日本の中で最先進事例と

新年あけましておめでと  
うございます。

会員の皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から

「自主・自立・共働・共助」というシルバー人材センターの基本理念の下、就業を通じて活力ある地域社会づくりに貢献されておりますことに深く敬意を表します。

今後、高齢者の絶対数が激増することが見込まれており、自立都市としての市の活力を維持していくためには、高齢者の力が欠かせません。

現在、柏市は「安心安全な街」として超高齢化社会でも、安心できる医

言われる、豊四季台地域の「地域包括ケアシステム」の仕組みを、より強化し、全市に広げよう、積極的に取り組んでいきます。

会員の皆様方には、豊かな経験と知識・技能を就業に活かすことで、地域社会の担い手として積極的、主体的に参加されることを期待しています。本市といたしましても、引き続きシルバー人材センター事業を支援してまいりますので、皆様方のご理解・ご協力をお願い致します。

柏市シルバー人材センターのなご一層のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

がんばっています Vol.20  
就業されている年男の会員の方を特集します

除草班で活躍中

田村 卓雄 さん

「年男の会員の方を取材して  
ください」と依頼をいただ  
いたときは、当然72歳の方だ  
と先入観を持ちつつ、お宅に  
伺いましたが、あらためてお  
年を尋ねると運転免許証！  
を見せてくださいました。

1930（昭和5）年4月生  
まれ。なんと今年84歳になら  
れる年男の田村さんでした。  
とても、お年には見えないほ  
ど顔色も良く、お元気そうで  
した。（実際、いたって健康  
だそうですね。）

しかも除草班ということ  
で、春から秋まで連日7〜8  
時間。夏の猛暑や、蒸し暑い  
中での過酷な作業をされてい  
ます。機械刈りだけでなく、  
鎌での手作業も多く、刈った

草を埋めるための穴掘り作業  
まであるとのこと。もう完全  
に脱帽です。田村さんより20  
歳も若い記者にはとても無理  
です。

現在の除草のお仕事は7年  
目。それ以前はやはりシル  
バーの仕事で、赤ちゃん用品  
の会社で働かれています。

現役時代は建築内装工事の  
会社を経営されていて、次代  
に会社を譲られて引退された  
後は、のんびりと隠居もせず、  
20年近くもシルバー会員とし  
て豊饒（かくしゃく）と働か  
れているとは、「凄い」とし  
か言いようがありません。



田村さん

新年の抱負を伺いましたが  
「特にありません。今までと  
同じです。」とのこと。健康  
に留意されて、無理をせず、  
お仕事を続けていただきた  
と思います。

取材 寺田 牧夫

表装作業で活躍中

上村 勇司 さん

上村さんは平成14年9月に  
入会され、11年間表装（襖・  
障子・網戸）の仕事をして  
されています。現役時代は建  
具職人として活躍されました  
が、世の中が木製サッシから  
アルミサッシの需要が増え始  
めるとともに、サラリーマン  
へと転向されました。「25年  
というブランクはあるが、技  
術というのは体が覚えている」  
また、「年末にかけて毎日忙  
しく元気に活動していま  
す」ともおっしゃっており、  
センターの表装の依頼の受注  
に大変貢献されております。



就業中の上村さん（左）

取材 事務局

また、表装作業で就業され  
る会員を増やすために襖張り  
替え講習会を開催した際の講  
師を度々務められたこともあ  
り、就業拡大の面でも協力を  
いただいております。  
現在センターでは表装の就  
業を希望される方を募集して  
おります。「一緒に頑張っ  
てもらえる会員さんをお待ち  
しています」とのことでした。



### 地区対抗グランドゴルフ大会

昨年 1 1 月 1 6 日(土)柏の葉公園運動場で開催されました。全体で 8 チーム・4 8 人が参加し、個人優勝は田中地区・片山保弘会員、地区優勝は田中地区 A チームとなりました。

<写真>①開始早々ホールインワンを出し優勝された片山会員。②天候にも恵まれました。



### 恒例の大堀川清掃に参加

昨年 1 0 月 2 7 日(日)に大堀川の清掃に柏西地区から参加しました。就業の他、健康と生きがいのため、また、地域への貢献と、センターの PR に役立てるため、当センターから谷口会長をはじめ、1 5 名の会員が参加されました。



### そば打ち体験&試食会

昨年 1 1 月 1 3 日(水)に我孫子市近隣センター「こもれび」において柏ゆずりは会「そば打ち体験教室」が行われました。その後、試食タイム、デザートと共においしく頂き、お持ち帰りのそばも用意されました。

## ～盛んです！！ 地域班活動～

ここでは、各地区において行われた活動を写真とともに紹介します。会員の皆さんもご自身が所属の地域班で、活動の機会があれば、ぜひとも積極的にご参加ください。



### 沼南まつりに参加しました

昨年10月20日(日)大井・大津ヶ丘地区、高柳地区の地域班が出店しました。あいにくの荒天でしたが、多くの方にシルバーをPR出来ました。

<写真>①秋山市長もブースを訪れていただきました。②多くの方が足を止めました。



### 柏東地区において、「健康づくりと介護予防」講演会を開催しました

昨年12月8日(日)柏市教育福祉会館において、柏東地区会員を対象に、柏市福祉活動推進課の奈桐明巳保健師による講演会を行いました。

内容は「高齢者と介護の現状と傾向について」急速に進む高齢化により、介護や認知症で悩む人や家庭が増えている。「生活機能低下を早期に発見しよう」運動機能の低下により、閉じこもり→寝たきりへの進行を防ぐ。「健康づくり介護予防を実践」日常生活内での介護予防のためには筋力や能力アップが必要で、栄養バランスや趣味等の人との交流を通して認知症になりにくくする。「ロコモティブシンドロームについて」運動機能低下予防と、予防のためのストレッチやスクワットなどのトレーニング方法(実技)の順で進められました。25名が参加され、身近で切実な内容に耳を傾けていました。

<写真>①皆さん熱心に聴講されていました。②講義とセットで実技も行いました。

## 事業部会から

## 新規事業「住みいるサービス」について

## 1. 目的

社会が高齢化していく中で、核家族化、介護事業の見直し等で住宅内の様々な作業ができなくなった高齢者、また、共稼ぎ等で手が足りないご家族を援助する

## 2. 作業内容

## (1) 日曜大工

①棚、②踏み台、③組立家具

## (2) 水道

①単独水栓修理・取替え、②単独水栓パイプ取替え、③単独水栓ハンドル取替え、  
④シャワーヘッド取替え、⑤洗濯機導入ホース取付け

## (3) 刃物研ぎ

①包丁、②剪定はさみ

## (4) 電灯交換（高さ3m以内・屋内に限る）

①蛍光灯、②白熱灯、③壁掛け時計の電池交換



## (5) 家具移動

①家具の種類、②家具の大きさ、③同一フロアのみ、④引っ越しの荷造り

## 3. 他の登録条件

- (1) 各作業に登録制にする
- (2) 他に就業していても、登録可能とする
- (3) 「おもてなし」心のある方

※この新規事業に係るアンケートを今号配布に合わせて実施しています。希望する会員は、別紙参照のうえ、回答をお願いします。

## ジョブコーディネーターについて

高齢者が活躍できる就労の場を拓げるため、請負事業だけでなく、職業紹介事業や派遣事業の活用とワークシェアリングの拡大及び就労支援等の事業を柏市から受託し、新たにジョブコーディネーター2名を配置しました。現在、事業先を訪問するなど活動を始めています。

今後、当センター、柏市、東京大学高齢社会総合研究機構の三者で事業を推進していくことにしています。

就業開拓部会から

会員の皆様へ

一会員一情報提供に努めよう！

世の中は、アベノミクスで景気がよくなってきたと言っていますが、柏市の景気がよくなったと言う話はまだ聞かれませんが、このような状況下で、センターの仕事の注文を増やし、就業率を上げるには、より多くの情報が必要です。

日々情報に接している皆さんから、お住まいの周りや、あるいは街を歩いていて「働く人を求めている」「新しい事業所が出来た」等々、会員が就業できそうな情報がありましたら、情報提供用紙に記入し、センターへ情報をお寄せください（FAX可）。会員一人一情報提供を目標に実践いただきますようお願いいたします。

提供いただき、契約に至ったものは「柏シルバーだより」「ゆずりは」でお知らせします。

なお、情報提供用紙は、今回の「ゆずりは」に入れて配布しました。センターの窓口にも常備しますのでご利用ください。

広報部会から

広報部会では、ゆずりは90号の発行に合わせて、ゆずりは紙面に係るアンケートを実施します。別紙の設問をお読みいただき、回答ハガキにて返信をお願いいたします。

残念な事ですが、昨年10月～12月の3ヶ月間で、さらに6件の傷害事故が発生し、事故件数は前年度より5割増となりました。事故は就業中だけでなく、就業途中でも同じ頻度で発生しています。事故多発により、その補償のため、シルバー保険の負担額が増え、財政的負担も生じます。就業途上でも、常に周囲に気を配って、事故の無いよう心掛けてください。

重大事故多発中!!

安全だより

事故発生状況（平成25年10～12月）

事故の内容	けがの程度
通路横断の際、右後方から来た車に右足が踏まれた。	指3本骨折
就業現場の梯子を下りる途中、3段目から飛び降りた。	左足首骨折
自分の車に向かう途中、車止めブロックで転倒。	右ひじ打撲
剪定中に器材を数段上ったところで足を踏み外し転落。	左鎖骨骨折
剪定中に器材の固定ピンが抜け、器材ごと前方へ転倒。	裂傷と手首骨折
自転車で走行中突起物に前輪がはまり自転車ごと転倒。	肋骨4本骨折

健康診断書提出率  
昨年未現在提出率

84.8%

平成26年度柏市シルバー人材センター安全標語を募集します

安全就業の推進、事故防止の啓発、安全意識高揚のため募集します。応募作品は安全委員会で選考のうえ、最優秀作品は平成26年度安全スローガンとして採用します。

- ◆就業中・就業途上の事故防止や、安全就業の推進に相応しい未発表の作品
- ◆会員番号と氏名を忘れずに記入し、官製はがきで応募ください。1人2作品まで。
- ◆宛先 277-0005 柏市柏 255-33 柏市シルバー人材センター 安全標語係まで
- ◆応募締切 平成26年 2月20日（木）必着

**事務局からのお知らせ**

**事業実施状況報告 (11 月末)**

		平成 24 年度	平成 25 年度
会員数 (人)	男	1,188	1,132
	女	334	323
会員の増減 (人)			△ 56
			△ 11
就業実人員 (人)		1,148	1,455
就業率 (%)		75.4%	74.4%
受注件数	公共	48	48
	民間	2,398	2,526
契約金額 (千円)		460,090	441,405

**「柏ゆずりは会」親睦バス旅行  
南房総お花畑と海の幸**

3月3日(月)早春の南房総を、満開のお花畑と海の幸で楽しむバス旅行です。行程内容は下記のとおりです。

大房岬自然公園～南房総道楽園(海鮮浜焼き屋食)～崖の観音・大福寺～JA館野(お買い物)～南房パラダイス(休憩)～房総フラワーライン～千倉白間津(お花畑)～アクアライン(海ほたる)

詳細は別紙チラシをご覧ください



**配分金支払日**

1月分 2月25日(火)  
2月分 3月25日(火)  
3月分 4月25日(金)

※毎月の配分金明細が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

平成25年の配分金支払い証明書は1月中に各会員へ郵送します。

**会員の皆様へ**

平成25年度健康診断結果が未提出の方は、至急提出をお願いします。

**ゆずりはクイズ Part18**

- Q1 年男の田村卓雄さんはどの職群班で就業されているでしょうか
- Q2 地区対抗グランドゴルフ大会の地区優勝はどここの地区でしょうか
- Q3 平成25年12月末日現在の健康診断書提出率は何%でしょうか

☆ヒント：3面、4面、7面をみてください。  
◎答えを葉書に書いて事務局へ送ってください。  
締め切りは2月21日(金)(必着)です。正解者の中から、抽選で素的な品を差し上げます。ご応募をお待ちしております。  
会員番号と名前を忘れずに書いてください。

◎前号のゆずりはクイズPart17の回答

- Q1 5部会、2委員会で合計7
- Q2 中・長期基本計画の着手、未着手状況
- Q3 11件

応募数14通の内、正解者数は10通でした。

**編集後記**

広報誌「ゆずりは」は、会員への通知や連絡事項を記載して、年4回の発行が恒例となり、今回で90号を数えることとなりました。

千葉県に関する限り、この刊行回数は、他では聞いていません。

これもひとえに、会員の皆様を始め、センター事務局・作業グループ・各部会等の相互協力・連携の積み重ねがあってこそ為し得たものであり、各関係者に対して心より感謝申し上げます。

これに満足することなく、これからも、期待にこたえられるよう多彩な記事の掲載を目指して参ります。

尚一層のご支援をくださいますようお願い申し上げます。

広報部会 M

**センター緊急連絡先 080-1293-8569**

この電話はセンター営業時間外に  
応答します。  
緊急なことかどうかを考えて  
から電話をしてください。

